

労働市場の概要（令和2年1月）

岡山労働局 職業安定課
TEL 086-801-5103

雇用情勢

令和2年1月の有効求人倍率(季節調整値)は、1.91倍となり、前月に比べ0.10ポイント低下した。

前月と比較して、有効求人数(季節調整値)は4.3%減少し、有効求職者数(季節調整値)は0.7%増加した。また、新規求人数(季節調整値)は11.7%減少し、新規求職者数(季節調整値)は0.7%減少した。

新規求人数(原数値)を産業別に前年同月と比較すると、主な産業では、宿泊業・飲食サービス業(52.8%増)で増加したものの、建設業(3.1%減)、製造業(24.3%減)、運輸・郵便業(23.8%減)、卸売・小売業(8.7%減)、医療福祉業(0.9%減)、サービス業(他に分類されないもの)(4.5%減)で減少したことから、全体では対前年同月比7.0%減と3ヶ月連続で減少した。

新規求職者数(原数値)は、前年同月比で3.7%減と2ヶ月ぶりに減少した。

1 有効求人倍率(季節調整値)

1月の有効求人倍率は1.91倍となり、前月に比べ0.10ポイント低下。

(1) 有効求人(パートを含む)

- 1月の有効求人は51,748人で、対前年同月比(原数値比較)で8.2%減少し、対前月比(季節調整値比較)では4.3%減少した。
- 対前年同月比(原数値比較)で6ヶ月連続の減少となった。

(2) 有効求職(パートを含む)

- 1月の有効求職は25,074人で、対前年同月比(原数値比較)で3.5%減少し、対前月比(季節調整値比較)では0.7%増加した。
- 対前年同月比(原数値比較)で6ヶ月連続の減少となった。

(3) 1月の正社員の有効求人倍率は1.51倍(原数値)となった。

2 新規求人倍率(季節調整値)

1月の新規求人倍率は2.59倍となり、前月に比べ0.33ポイント低下。

(1) 新規求人(パートを含む)

- 1月の新規求人は18,681人で、対前年同月比(原数値比較)で7.0%減少し、対前月比(季節調整値比較)では11.7%減少した。
- 対前年同月比(原数値比較)で3ヶ月連続の減少となった。

○ 産業別新規求人状況(対前年同月比)は、

建設業	3.1%の減少	(4ヶ月連続の減少)
製造業	24.3%の減少	(8ヶ月連続の減少)
運輸業・郵便業	23.8%の減少	(2ヶ月連続の減少)
卸売・小売業	8.7%の減少	(2ヶ月ぶりの減少)
宿泊業・飲食サービス業	52.8%の増加	(10ヶ月ぶりの増加)
医療・福祉	0.9%の減少	(2ヶ月ぶりの減少)
サービス業	4.5%の減少	(3ヶ月連続の減少)

(他に分類されないもの)

(2) 新規求職(パートを含む)

- 1月の新規求職は7,034人で、対前年同月比(原数値比較)で3.7%減少し、対前月比(季節調整値比較)では0.7%減少した。
- 対年同月比(原数値比較)は2ヶ月ぶりの減少となった。

3 雇用保険の状況

雇用保険被保険者数は604,427人で対前年同月比0.9%の増加となり、121ヶ月連続で増加した。

また、受給者実人員(基本分)は6,048人で、対前年同月比9.2%の減少となり、受給率は1.0%となった。